

剣道いろは訓草提唱

範士

北村 博学

い 一刀両断その決断
乃 論より稽古

虚実正邪善悪両断
理に流されず先づ実行

は 始めの心に恥ふいけいこ
に 二度より三度面数かぶる

初心不可忘貫徹せよ
繰り返す錬成のみが目的達成

は 本気根気で元氣にやりぬく
へ 変化萬刀一刀に還る

一事貫行精神にやる
真の一刀を修める

と 時機を逸せぬとつとの打突
ち 近い間 遠間 己れの間

機合は後頭部が走っている
己れの間を会得せよ

り 理合を学ぶ形基本
ぬ 抜くふ気合ぬかるなチヤンス

理合は土台業の基
と氣合で先づ勝つ

る ルール守って見事な仕合
を 己れに克つか真の勝ち

仕合心得正々堂々
外敵より心中の敵に勝つ

わ 業は理に合ふ自然の打突
か 懸り稽古は一気のけいこ

事理一如自然体と平常心
全身全霊一氣息の打込を

よ よせばと思ふ下手の横突
た 鍛錬は千萬べんのくりきり返し

痛め枝は下目の料簡
靈劍は鍛錬の果実也

れ 礼を欠いては劍の暴
そ 其処打て此処打て引立けいこ

礼に始り礼に終る日本の剣道
愛が剣を育てる

つ 使ふ道具に欠かさぬ点檢
ぬ 熱心な稽古に指導熱心を帯び

傷つけず傷つかぬ剣志心得
師弟同行同心修行

な 為せば成る業自ら創造
ら 楽勝は稽古けいこの積み重ね

守破離の道は人の道劍の道
苦あれば楽あり人生行路

む 無理は不利無駄打け無理
う 煩もさい相手にとる間合

理合の通るまことの打突
実体把握の巨離を保て